



海外PBL成果発表

グループ ワークに ついて

僕たちBグループは日本の学生二人、中国の学生二人、台湾の学生一人で協力してPBL活動を留学二日目から四日目までの三日間をかけて行いました。

僕たちBグループは「未来の車いす」をテーマとして決め、家の中と外の両方で使える車いすを目標とし、話し合いました。話し合っていく中で、僕たち日本の学生が製品の質を第一に考えているのに対し、向こうの学生はコスト削減を第一に考えていて、国によって考え方の違いがあることを知りました。

その二つの考え方を両立させるために、車いすの素材を鉄から強化ガラスに変えることを話し合いで決めました。

それ以外も家の中と外で使うにあたって、どのような機能が欲しいか話し合いました。





留学先での体験

今回の留学は、向こうの大学の中で食事や現地の観光を通して、中国の文化を実際に体験できて、とても貴重な体験ができました。

二人とも中国に行ったのは初めてでしたが、向こうで実際に生活してみて、日本との文化の違いをじかに触れることができました。

まとめ及び 現地の方と の交流につ いて

今回の活動では、現地の学生とPBL活動を通して交流をすることが多かった中で、自分の考えを言語の違う相手に正確に伝えることがいかに難しいかを実感しました。また、それと同時に英語の重要性なども改めて実感しました。

また、話し合いのなかでも、僕たちとは違う観点からの意見を言ってくれていたため、自分たちが気づかなかった問題点なども発見することができました。

感想

今回の活動、留学は自分にとって新しい経験や発見ばかりで、とても新鮮なものでした。このような交流の経験はなかなかできるものではないので、観光もPBL活動もとても楽しく、いい経験になりました。

僕は今まで海外に行ったことがなく、日本以外の文化に直接触れるのは初めてだったので、今回の留学はとても貴重な体験になりました。今後も中国に限らず、異国の文化に直接触れる機会があったら、積極的に参加してみたいです。